

時間軸	内容	時間軸	内容
1 過去 (誇れる歴史等)	<ul style="list-style-type: none"> ・100年以上の歴史(文化) ・町民憲章(町制80周年時策定) ・町の良さ(環境面・町原風景) <ul style="list-style-type: none"> ● かつての郡都(足柄地区の経済・行政の中核) ● みかん・茶産業の隆盛 ● 松田町と寄村の合併により誕生し、100年を超える町制 	3 現在 (制定背景・策定意図等)	<ul style="list-style-type: none"> ・町民参加型のまちづくりの必要性(町民目線・町の活性化・情報共有) ・役割分担の必要性 ・人口減少(少子高齢化) <ul style="list-style-type: none"> ● 厳しい現状認識の必要性 (しかしながら・・・の表現) ● 現状認識(人口減少・商工業の衰退) ● 自治会への加入等、地域コミュニティが抱える課題(世代交代) ● まちづくりへの参加機会創出の必要性
2 現在 (町の資源・強み)	<ul style="list-style-type: none"> ・町の良さ(環境面・制度面) <ul style="list-style-type: none"> ● 交通の要衝(鉄道駅2駅・道路網) ● 子育て環境・高齢者福祉の充実 ● コンパクトな町 ● 富士山の眺望／西丹沢の麓(寄地区) ● 足柄の温暖な気候 ● 観光資源(さくら・ハーブ館) ● 豊かな自然環境(酒匂川の清流及び豊富な森林資源:94%の山間地) ● 自然休養村の指定(寄地区) 	4 将来 (目指す将来像)	<ul style="list-style-type: none"> ・町への回帰性(土地への愛着) ・将来(次世代)への引継ぎ(夢など) ・子どもの教育(子育て)・人づくり など <ul style="list-style-type: none"> ● 町の将来を担う子ども達の育成・郷土愛の醸成 ● 自由な意見交換ができる環境づくり
前提	<ul style="list-style-type: none"> ● 表現方法(分かり易い／：口語調の表現の採用) ● 町民主権の実現 ● 情報の共有化 ● 次世代へつなぐ観点での条例制定 ● 町独自の表現の採用 (当町らしさが外部者からも分かること) 	検討課題	<ul style="list-style-type: none"> ● 権利や責務という表現の採用 ● 松田町町民憲章(平成元年)の採用 ● 人を育てるという観点 ● 町への回帰性(ふるさと創生) ● 町民・議会・行政の役割以外の項目(主体)の明記 ● 条例策定視点の「町民目線化」 ● 地方分権の明記の必要性

愛町心や町への誇りを喚起し、将来に引き継いでいくべきもの

自治基本条例が必要な背景と将来目指すべき町の姿

